

『美術教育学-美術科教育学会誌』 第 45 号投稿案内

Call for Papers: Journal No.45

学会誌編集委員長/研究部副代表理事 大泉義一（早稲田大学）

『美術教育学』第 44 号は、投稿者の意欲的な論考とそれに対する査読者との真摯な「対話」を通して、ようやく刊行されました。皆様、本当にお疲れ様でした。第 44 号では 44 編の投稿論文のうち 22 編の論文が掲載され、採択率は 50.0%でした。昨年度の第 43 号と比べ投稿数は 12.8%微増し、掲載数は 15.8%増、採択率は 1.3%増でした。

学会誌への論文投稿は、学術研究にとって『要』となる研究活動です。昨今においては、研究成果公開の手段も多様化しているところではありますが、投稿と査読者との「対話」を通して論理的に真理を追究する機会として、ぜひ多くの方の投稿をお待ちしております。

■ 第 45 号における重点的な取り組み

1. 二重投稿防止等の研究倫理への取り組みと二重投稿疑義への対応（注意喚起）

これまで、大学美術教育学会、日本美術教育学会など美術教育関連学会の諸団体と連携し、各学会誌に同一内容相当の論文が投稿されていないか、研究倫理が守られているか等の確認体制を強化してきました。第 43 号からは、この体制のさらなる強化のため、「投稿論文の関連論文、関連著作リスト（投稿者自身の先行研究、関連研究）」を投稿時に提出いただくことになっています。本学会誌への投稿論文と他学会誌への投稿論文が継続研究となっている場合を想定し、＜本学会誌投稿論文内容と他学会誌投稿論文内容との差異の報告＞、本学会誌投稿論文に関わる＜既発表の論文や著作のリスト＞を作成いただくことになります。査読者は、この「報告やリスト」をもとに査読を行い、二重投稿に該当するか、研究倫理が守られているか否かを判定します。関連論文や著作がない場合には、「関連論文・著作無し」として提出下さい。

また、これとともに投稿者は、事前に指導教員や本学会誌論文について経験豊富な学会員に相談いただき、二重投稿事案に抵触しないように十分に留意して投稿いただきますようお願いいたします。

第 44 号では、残念ながら二重投稿疑義が発生したため、上記三学会での対応を余儀なくされました。本学会通信においても注意喚起の記事を掲載しましたので、今一度ご確認のうえ投稿くださいますよう、よろしくお願いいたします。

2. 英文概要校閲の投稿者責任の明確化（継続）

この数年と同様に、英文概要の校閲は投稿者の責任において行うことを義務化し、かつてのように編集委員会での業者一括発注を行っていません。詳しくは掲載決定後の入稿要領でお知らせします。

3. 電子ジャーナル無料公開システムサイト J-Stage への早期掲載に向けての取り組み（継続）

J-Stage への早期掲載のために、論文執筆者自身に「引用文献」素案を作成していただくようにしています。これも掲載決定後の入稿要領でお知らせします。なお第 42 号までの論文は全て J-Stage に掲載されています。研究や実践にお役立てください。 <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/aaej/-char/ja>

■ 投稿要領

1. 投稿資格

- (1) 単著の場合、著者が本学会の正会員であること
- (2) 共同執筆の場合、筆頭著者が正会員であり、かつ当該論文著者の半数以上が正会員であること
- (3) 正会員については、投稿時までに会費を完納していること

2. 論文の作成

論文の作成にあたっては、美術科教育学会の諸規程を参照の上、ルールに則った投稿を心がけてください。以下の様に学会ウェブサイト <http://www.artedu.jp> 各各種案内（6 月半ばまでに更新予定）にアクセスできます。

- (1)「学会誌投稿規則」 学会ウェブサイト＞学会概要＞会則・諸規程
- (2)「投稿論文作成の手引き」 学会ウェブサイト＞投稿論文募集
- (3)フォーマット 学会ウェブサイト＞投稿論文募集原稿モデル、Word 用のフォーマットなどをダウンロードできます。※必ず最新のものをお使い下さい。

3. 論文投稿受付期間

2023年7月3日(月)10:00 から8月31日(木)17:00 まで。 *システム上、左記期間以外は受け付けできません。

4. オンライン投稿の手順

4-1. システム利用条件

(1) **会費納入** 当該年度の会費まで納付が完了していない場合、システム上で投稿を受け付けることができません。会費の入金処理には2～3日かかりますので、投稿までに十分余裕をもってご入金ください。

(2) **新入会者の投稿** 本年度入会で投稿をご希望の方は、至急、入会申込書を送付し、本部事務局支局(ガリレオ社)にお問い合わせの上、仮の会員番号とパスワードの発行を受けてください。投稿締め切り間際での手続きですと、投稿不可となる可能性があります。

4-2. 投稿データ作成

ファイル容量が大きすぎてシステムにアップロードできない場合は、貼り付けている画像の容量を画像編集ソフト等で縮小するか、PDF ファイルの容量を縮小するなどの作業を行ってから提出してください。

(1) **査読用原稿** Word または PDF。「投稿論文作成の手引き」、フォーマットに基づいて作成。

(2) **図・表** 原稿内に組み込めない場合には別途添付。複数ファイルは Zip フォルダ等で一つにまとめる。

4-3. 会員 ID とパスワード

投稿システムをご利用になるには、会員管理システムと同じ会員 ID およびパスワードが必要です。不明な場合は、会員管理システムか投稿システムのログイン画面《ログインできない方はこちら》ボタンより、パスワードの再設定もしくは照会手続きに進んでください。

4-4. 操作手順

学会ウェブサイトの投稿論文募集ページの最下部にある《オンライン投稿システムへログイン》のリンクをクリックし、画面に従って会員 ID、パスワードを入力してください。

ログイン完了後、「投稿案件」の下にある《『美術教育学』第44巻(号)論文投稿》をクリックしてください。

さらに、《Option-2》の下にある《新規/追加投稿》のボタンをクリックしてください。その後、画面の指示に従って投稿データをアップロードしてください。

*「操作画面図」の入った「詳細な投稿案内」は、学会ウェブサイトでもご確認ください。

5. 掲載料

基準頁数(12頁以内)の掲載料は、24,000 円で、12 頁を超えた場合は、1 頁につき 5,000 円の追加料金があります。また上限は 18 頁です。校正を経て頁数が確定した投稿者に連絡しますので、期日までに納入してください。おおよそ 3 月初旬に本部事務局支局担当者から行います。

6. 論文投稿後のおおその日程

[9月上旬] 理事会へ受理報告、査読委員へ査読依頼

[10月中旬] 査読委員からの判定結果期限(一次)

[10月下旬] 投稿者へ査読結果通知。上記の査読判定(一次)により「再査読」となった論文については、別の査読委員に再査読を依頼し、査読日程が約1か月追加されます。

10月下旬から2月末の日程は、査読結果により変わってきます。

[3月上旬] 編集委員会の最終校正→印刷

なお、査読状況により、上記のスケジュールより遅れ気味になることもあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

■2023(令和5)年度 第21回『美術教育学』賞選考について

『美術教育学』賞は、美術科教育学会の将来を拓くことが期待される清新で可能性に満ちた研究成果を称揚し、美術教育学研究の発展に寄与することを目的としています。2023 年度は、2022 年度刊行の学会誌第 44 号に掲載された論文の内、執筆者全員の年齢が 2022 年度末において 45 歳以下の方のものが選考対象となります。